

我孫子市では令和4年度4月からコミュニティ・スクールがスタートし、今年度2年目を迎えました。今回は、第2回学校運営協議会の一部の様子と、新たな地域学校協働活動に向けての取組や、学校運営協議会委員並びに地域学校協働活動学校担当者・推進員合同研修会の様子についてお伝えします。

※各学校の会議内容や開催予定等については、各学校HP等にてご確認ください。

令和5年度 第2回学校運営協議会会議

【我孫子中学校区 4校合同学校運営協議会会議】

7月31日に我孫子中学校を会場として、我孫子第二小学校、我孫子第三小学校、高野山小学校、我孫子中学校の4校合同で第2回学校運営協議会会議が開かれました。

前半は、まず昨年度、我孫子市のコミュニティ・スクール研究指定校として取り組んだ我孫子第三小学校のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の実践について全体に報告があった後、続いて4校の学校運営協議会委員混合のグループで、各学校の昨年度から今年度ここまでの取組について紹介し合い、共有しました。また、ここまでの取組の中で見えてきた課題も話題になりました。意見や提案だけでなく、学校運営について評価するためには、評価に必要な情報を十分に共有しているかどうかなど、委員それぞれが、改めて学校運営協議会の役割について考える時間にもなりました。

後半は、「大規模災害への備え」という観点から、今回は「地震」をテーマとして、「子どもたちにどのような心配や危険があるか」「それに対してどんな対策ができるか、中学校区で取り組んでおいた方がよいことはあるか」についてグループごとに話し合いました。

なお、昨年度は中学校区合同の引渡し訓練を検討しましたが、中学校に4校の児童生徒とその保護者を集めると大人数となることから、危険性が高まることが想定されるため、断念した経緯があったことも学校側から伝えられました。こうした内容を受け、各グループでは、小学生に兄弟がいる中学生が各小学校へ避難することやその安全性についても検討がなされていました。



避難所や待機場所を設営するときは、地区ごとに地区名を出すと、保護者や地域の人にもわかりやすいですね。

3.11の経験を伝えていくことや、家族での集合場所の確認、登下校の途中で被災した時の判断などを共有しておきたいです。

中学校区合同避難訓練は、やってみることで、その課題が学校も保護者もはっきりわかると思います。

被災時、停電やネット障害が起きた場合の学校からの情報発信方法も、検討しておいたほうがよいのでは？



通学路の安全確認、子どもも地域も知っておく必要があると思います。通学路途中においては、子どもの自助力を高めておく必要もあります。学校・自治体が自分事としてとらえ、CSをとおして子どもたちと一緒に自覚化していけたらと思います。

秋に予定している教育ミニ集會も、「防災」をテーマに4校合同で開催し、さらに中学校区で広げ深めていく予定です。

【湖北台西小学校・湖北台まちづくり協議会 打ち合わせ】

7月28日に湖北台近隣センターで、2回目の湖北台西小学校と湖北台まちづくり協議会の打ち合わせが行われました。



6年生は、近隣センターで自分たちの得意なものを地域の人たちに見てもらいたい、地域の中の学校としての意義を地域の人に知ってもらい、地域の役に立ちたいと思っています。ぜひ、6年生の提案を形にして、「やり遂げた」という気持ちを持たせてあげたいのです。

6年生が企画運営、まち協はお手伝いというところで、子ども達を支えたいです。

先生たちの負担が増えすぎないように、授業の範囲内でやれるのがいいと思います。

方向性が、はっきりしたところで、打ち合わせを終え、この後は、6年生の企画を進めつつ、まちづくり協議会と連携して「地域との交流会」に向けて取り組んでいくことになりました。なお、6年生は、総合的な学習の時間の中で、「地域貢献」をテーマに取り組んでいきます。

前回は、学校や、まちづくり協議会という立場で、子どもたちのために、それぞれ何ができそうか、意見を出し合いました。今回は、それを受けて、湖北台西小学校の6年生から、「地域との交流会」について提案があり、その実現に向けての話し合いとなりました。



地域への広報は、まち協が請け負いますよ。日程が決まれば、施設の予約をします。

まずは、やってみましょう！

【学校運営協議会委員並びに地域学校協働活動学校担当者・推進員合同研修会】



8月4日に、我孫子中学校で、市内全小中学校の学校運営協議会委員、地域学校協働活動学校担当者・推進員合同で研修会を実施しました。前半は、「これからの時代に求められるコミュニティ・スクールのあり方について」をテーマに、文部科学省国立教育政策研究所統括研究官の志々田まなみ様にご講演いただきました。講演の中で、それぞれの「コミュニティ・スクール」や「地域学校協働活動」のイメージが異なることに気づくとともに、令和の時代に求められるコミュニティ・スクールのあり方について具体的にお話いただきました。

後半は、コミュニティ・スクールと小中一貫教育の一体的推進をテーマとして、中学校区ごとに、現在実施している地域学校協働活動を学校の教育計画（教育課程）の中に位置付けて、共有を図りました。その上で、小中一貫教育の視点から、中学校区で、また小学校で足並みをそろえて取り組んでいきたいことや、新たに組み組みしてみたいことなどが、各グループで話し合われました。

今後も、子どもたちのために、様々な視点から連携・協働を目指していきたいと思っています。

